

第2回 奈良交通路線バス(北田原線)利用促進に向けた三者協議概要

日 時 令和6年6月6日(木) 午後7時00分～午後8時30分

場 所 南田原町集会所

参加者 北田原町3名、南田原町7名、星和台4名

事業者：奈良交通株式会社3名

行 政：生駒市(事業計画課)3名

コンサルタント：システム科学研究所3名、ティデザイン1名

話 題 (1)北田原線の運行継続について
(2)今後の利用促進の必要性について
(3)前回の振り返り
(4)グループワーク
(5)次回について

概要

(1) 北田原線の運行継続について

- ・行政から、資料1「奈良交通路線バス「北田原線」の運行継続の決定について」に基づき、北田原線運行継続の説明があった。

(2) 今後の利用促進の必要性について

- ・行政から、資料2「なぜ今後も利用促進が必要？」に基づき、利用者(地域)・奈良交通、市が三位一体となって引き続き利用促進に取り組まなければ、バス路線の運行継続は一時的なものになってしまうことについて説明があった。

(3) 前回の振り返り

- ・行政から、資料3「北田原線 第1回 利用促進に向けた三者協議 ニュース」のとおり、参加できない方の意見も集約した上で、この三者協議で利用促進に取り組んでいくことの説明があった。

(4) グループワーク

- ・自治会ごとに3グループに分かれて利用促進に向けたグループワークを行った。
- ・北田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。
 - ①観光・来てもらう：バスを利用して北田原へ観光に来てもらうために、地域内の魅力的なスポットを周知。
 - ②車から転換：地域独自のノーマイカーデーをつくって、地域全員で取り組む。ただし、取組内容は年代別に考える必要がある。
 - ③目的づくり：北田原町周辺で、住民以外の人に来てもらうための目的地をつくる。例えば、市役所の分署機能を集会所につくるなど。
 - ④乗り方を教える：バスの使い方が分からない方のために、乗り方教室を開催。
 - ⑤遠足とかで利用：地元の小中学校の遠足や部活遠征等でのバス利用を検討。

- ・南田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。
 - ①事業所：市内事業所、市役所でのノーマイカーデー実施。民間通勤バスから路線バスへの転換。企業も巻き込む。
 - ②運用：自由乗降の設定。朝の通勤時間帯は快速バス運行。
 - ③運賃割引：65歳シルバーチケットの導入。長距離利用割引の導入。
 - ④地域で：自治会イベントでバス利用。沿線事業者へPR。
- ・星和台のグループでは、次のような提案内容が出てきた。
 - ①お得に：高齢者パスやワンデーパス、雨降り割引、乗継割引等を実施。
 - ②つながる：市立病院や図書館等の行きたい目的地に行くバス路線を検討（奈良交通と協議が必要）。
 - ③出会い・出会う：バス停の上屋やベンチの設置（自治会費や広告代を活用）。
 - ④楽しむ：自治会イベントでのバス利用。観光協会・観光ボランティアガイドの会と連携して他地域から地域に来てもらう。
 - ⑤巻き込む：沿線の商業施設・医療機関から協賛を得る。
 - ⑥結ぶ：利用しやすいバス路線（ルート）を検討（奈良交通と協議が必要）。
 - ⑦知る・知らせる：沿線の各家庭に時刻表を配布。市域全体で3000万円赤字といった情報を回覧だけでなく口コミ等で地域に知らせていく。

(5) 今後の予定

- ・行政から、今回のグループワークの内容はニューズペーパーを通じて地域に共有し、次回はこの内容をもとに具体的な取り組み案について考えていきたい。次回開催日は各自治会と調整の上で決定するとの説明があった。

以上